

美郷魂

コバヤコト高校と美郷中

明への懸望と心のこもった
「男子バドミントン部」

詳細は17ページ



みなで さっさと もっと いい町へ

まじすく

議会だより



議会ホームページへ

- 2/12月定例会
水稲農家へ支援
- 6/一般質問に7議員
- 14/議会との意見交換会



まちづくりを考える

12月定例会

米価下落に対応し意見書を提出

12月定例会を、12月13日から10日間の会期で開きました。

一般会計の補正予算に「水稲作付継続緊急支援事業」が盛り込まれたほか、議会側も「米価下落に伴う対応策を求める意見書」を議案として提出しました。

審議した議案は、全て原案のとおり可決しました。可決された発議と採択された陳情は、それぞれ関係機関に意見書を提出しました。



予算補正

会計名		補正総額	補正後累計
一般会計 (追加議案による補正も含む)		3億9729万円	129億4516万円
特別会計	国民健康保険	697万円	23億4595万円
	後期高齢者医療	△153万円	2億2459万円



一般会計補正 (主な事業)

水稲作付継続のための緊急支援

4918万円

水稲作付農家に対し、次期作の支援を行う。対象者は、主食米を令和3年に作付け・出荷し、令和4年も同様に計画している農家。

支援額は、令和3年主食用米生産面積から30aを除き、面積10aにつき1500円。

村田議員 支援額を3000円とした自治体もあるが、1500円の根拠は。

農政課長 秋田県農林水産部が作成した作物別技術経営指標によると、水稲における種苗費は10aあたり1500円となっており、これを根拠とした。

子育て世帯へ給付金

2億3298万円

子育て世帯へ現金10万円を給付する。国が対象としない世帯も給付の対象とする。

熊谷(良)議員 地元経済への支援策として、クーポンでの給付を望む声があるが、現金10万円の一括給付にした理由は。

教育推進課長 子育て世帯からは現金10万円の一括給付を望む声が強し。制服などの購入は、クーポンでなくとも地元経済の支援にな

議長 年頭のあいさつ



美郷町議会議長 森元 淑雄

新年おめでとうございます。

本議会は、昨年10月から新体制でスタートしました。その矢先、令和3年産米の概算金が大幅な下落に見舞われました。このことは、農業が基幹産業である本町にとっては死活問題であり、生産意欲をそがれてしまう事態を招きかねません。議会としても重大な事案であるという認識をもって、米価の下落に伴う緊急の支援策を講じるよう、国や県に対して要望したところであります。

昔から言われている「三人寄れば文殊の知恵」の如く、一人より二人、二人より三人とできるだけ多くの議員が、より深い理解をもって建設的な知恵を出し合う議会であり続けたいと思っております。

また、議員一人一人が町の諸問題に対して真摯に取り組み、持ち味を生かしながら意思の疎通を図り、各々の考えを發揮できるような、自発性に富んだ議会でなくてはならないとも考えております。

令和4年が、皆様方にとりまして穏やかな一年になりますことをご祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。

る。経済対策としては、これまでもプレミアム商品券などの事業を行ってきた。

町長 子育て世帯への応援給付金であるという原点に立ち返り、現金10万円の一括給付を選択した。

澁谷議員 国が対象としない世帯に町が独自に給付する場合、所得税の課税対象になるのか。

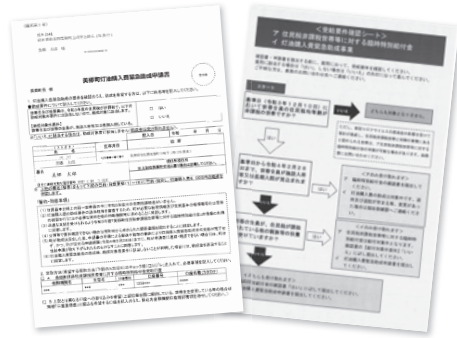
教育推進課長 町と税務署との協議により決めることになる。税法上「一時所得」に該当しても控除が受けられるため、他の一時所得と合わせて50万円を超えなければ課税対象にならない。



●灯油購入費緊急助成事業

1044万円

灯油代6千円を住民税非課税世帯に給付する。



灯油購入費緊急助成申請書

●新型コロナウイルスワクチンの3回
目接種費用
2130万円

泉議員 ファイザー社製とモデルナ社製、接種するワクチンは選べるようになるのか。

福祉保健課長

接種案内には、日時と場所、ワクチンの種類を示してあり、その日時等により選択することになる。



ワクチン接種会場

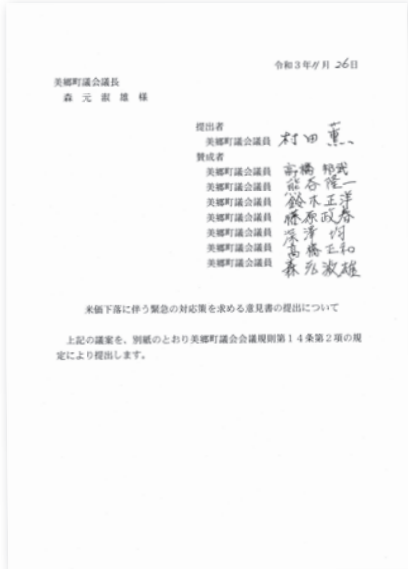


発議

可決 米価下落に伴う緊急の対応策を求める意見書の提出

総務産業常任委員会提出

米価下落は、地域経済に大きな影響を及ぼし、農家の営農意欲を削ぐことから、支援と対策を実施するよう、国と県に求める。



提出した意見書



議会用語かんたん解説



「発議」

議員もしくは委員会の意志により、議案を提出することです。
地方自治法の定めによると、発議には議員定数の「12分の1以上」の賛成が必要とされています。定数16の美郷町議会では「2人以上」となります。

可決 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出

コロナ禍により地方財政の悪化が懸念されることから、安定的な運営に資する財源の確保が図られるよう、国に求める。

陳情

採択 (第1号) 安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める陳情

教育民生常任委員長 (泉議員) 委員からは「75歳以上の窓口負担の見直しは令和4年10月に予定されており、いま意見書を出してどうなるのか」「新型コロナウイルスがどうなるかわからない状況では、医療体制は強固なものにしていかなければならない」などの意見があった。採決したところ、「採択すべき」5人、「不採択すべき」2人となり、「採択すべき」とした。

採択 (第3号) 安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康をまもることを国に求める意見書提出の陳情

教育民生常任委員長 (泉議員) 委員からは「陳情第1号と同じ」「コロナで医療体制のひっ迫ということを耳にしてきたし、病院の人

員不足を感じている」などの意見があった。採決したところ、全会一致で「採択すべき」とした。

採択 (第4号) 介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情

教育民生常任委員長 (泉議員) 委員からは「『介護従事者の給与を引き上げる財源として全額公費負担』とあるが、疑問を感じる」「財源と税金の使い方については、不要不急でないものを減らし、こちらに配分してほしいということであろう」などの意見があった。採決したところ、「採択すべき」5人、「趣旨採択すべき」2人となり、「採択すべき」とした。

※陳情第2号「精神保健福祉の改善について国に意見書提出を求める陳情」は継続審査とした。

人事

次の方の任命に同意しました。



【教育委員会委員】
(再任)

坂本 浩之氏

スミズミ Q A

【機構集積協力金の返還について】

農家が農地集積に協力し、農地中間管理機構から交付された補助金に返還事由が生じたため、町を通して返還するもの。

■深沢(義)議員

返還が生ずる期間は。

■農政課長

農地中間管理機構との契約から、おおむね10年間となっている。その期間内に契約を解除し、自作復農や土地売却をした場合など、返還の対象となる。



12月
定例会

一般質問



12月21日の本会議では、7議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

※会議録はホームページでご覧いただけます。

質問者

むら た
村田 かおる
薫 議員

- ◇役場駐車場にインターホンと点字ブロックの設置を
- ◇無人化駅の安全と円滑な利用の再考を
- ◇道路や公共施設の工事に障がい者の意見を

ふか さわ
深澤 ひとし
均 議員

- ◇美郷町農業の将来像について
- ◇図書館の利用について
- ◇日本航空への恩返しについて

は せ がわ ゆき こ
長谷川幸子 議員

- ◇子宮頸がんワクチン定期接種について

いずみ み わ こ
泉 美和子 議員

- ◇原油高騰の影響から暮らしを守る対策を
- ◇国保税の引き下げを

たか はし くに たけ
高橋 邦武 議員

- ◇農山村の振興・活性化について

すず き まさ ひろ
鈴木 正洋 議員

- ◇再生可能エネルギー設備の設置に対する指導要綱の整備を
- ◇スクールバスの利用における距離条件の緩和を
- ◇通学路に防犯灯の増設を
- ◇都野・東君堂線に防風雪柵の設置を
- ◇消雪道路の改修工事は商店街を優先して

くま がい りゅういち
熊谷 隆一 議員

- ◇登山客の入山数と登山道入口等の案内看板設置について

一般質問とは？

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。



村田 薫 議員

議員 役場の駐車場から玄関まで視覚障がい者が安全に到達できるように、インターホンと点字ブロックの設置を。

町長 インターホン設置後の実際の利用状況が不透明なので、必要な方に職員が移動の支援を行う方が現実的であり、現在のところ設置は考えていない。

国際交通安全学会が示したガイドブックによると、障がい者駐車スペースにおける点字ブロックは、車いす使用者のバリアになるため設置してはならないとある。車いす使用者の来庁がほぼ車であることを考えると、その導線に入る区域に点字ブロックを整備することは慎重に考えなければならぬ。必要な場合には、職員が移動

視覚障がい者が移動しやすい役場に

町長 職員が支援を行う

の支援を行う。
障がいのある方が遠慮なく職員へ声掛けいただけよう、今後、町広報などで周知していくとともに、職員には適切な対応をするよう改めて指示する。

駅のバリアフリー化を

町長 設置者に要望する

議員 後三年駅や飯詰駅について障がい者にとつての利便性や安全面を町独自に検証し、必要な対策が講じられるよう設置者に申し入れるべきではないか。

町長 現地調査をした結果「バリアフリー化された町の公共施設とみなす基準」と照らし合わせてみると、後三年駅は6項目中5項目、

飯詰駅は6項目中2項目しか基準を満たしていなかった。検証結果を踏まえ、障がい者の利便性向上と安全性確保などについての対応を、町として駅設置者に要望していく。



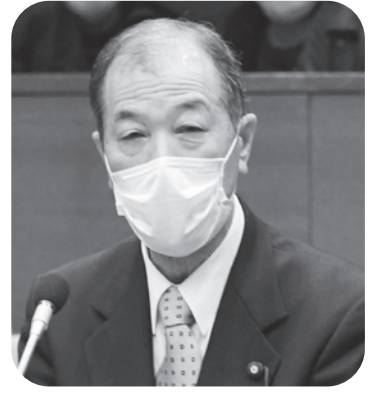
飯詰駅改札口

各種工事に障がい者の意見を

町長 福祉的配慮がなされている

議員 公共施設の改修や道路工事などにおいては、障がい者の方々の意見を参考にバリアフリー化を推進し、すべての人に使いやすい施設整備をすべきと思うが、見解を聞く。

町長 県の「バリアフリー社会の形成に関する条例」及び施行規則で、計画段階から福祉的配慮を取り入れることが求められているので、町の各種工事においても基準は満たされている。よって、障がい者の方々から個別にご意見を頂戴することは、現時点では考えていない。



議員 均 深澤

大豆作付けへの振興策は

町長 支援の拡充を図る

議員 転作作物として大豆への取り組みは不可欠と考えるが、現状と今後の振興策についての見解を聞く。

また、転作確認などにおいて行政コスト削減の観点から、スマート化・システム化が必要ではないか。

町長 大豆の作付面積に大きな増減はないが、「経営所得安定対策推進事業」を実施し、産地交付金による作付け転換や面積拡大を支援している。今後、国、県の補助制度等による機械設備導入と、町の補助による支援を考えている。

また、令和3年度より、「循環型農業土づくり応援事業」を創設し、収量向上を目指した支援をしている。今後、補助単価を拡充す

るなど、更なる振興を図る。

転作確認等の作業・事務のスマート化・システム化については、ドローン活用により作業労力・時間が大幅に短縮しているとされており、導入には国の補助金の活用が可能となっている。今後、他自治体の状況も踏まえ、展開可能な時期に地域農業再生協議会に提案していく。

図書館を土足利用に

教育長 令和4年度改修を検討

議員 美郷町図書館の土足利用を望む声があるが。

教育長 町民の高齢化が進んでいることや利用者から土足化の要望もあり、必要性が高まっていると

考え、令和4年度の改修を検討している。



図書館の下足棚

日本航空へ恩返しを

町長 令和4年度実施に向け検討

議員 昨今のコロナ禍の影響で航空業界は7割減収と厳しい経営環境下にある。平成25年に連携協力協定を結び、大変お世話になっている日本航空に「鶴の恩返し」な

らぬ「美郷の恩返し」を検討してみてはどうか。

町長 現在、事業休止している「JALダイナミックパッケージ割引事業」については、環境の変化がない限り、令和4年度はぜひ実施していきたい。また、町民が往復JALグループ国内線で往路に秋田空港を利用する場合、利用者に対して町内の産品を贈呈するなどし、町内の物産振興を図りながら日本航空便の利用促進に向けた施策を、令和4年度から実施できるように検討していく。

※JALダイナミックパッケージ割引事業

往復JALグループ国内線を利用し、往路が秋田空港着で、町内の宿泊施設サン・アール、あったか山、ワクアスのいずれかに宿泊される場合、1名につき5000円を助成する事業



はせがわ せいか 議員
長谷川 幸子

子宮頸がんワクチン接種の推奨を

町長 個別通知により接種勧奨に努める

も同様の対応を図っていく。

◆未接種者への今後の対応は

議員 現段階の対象者は何人いるのか。また、積極的勧奨の差し控えるため、接種機会を逃した方はどれくらいか。その方々に対する今後の対応は。

町長 対象者は12歳から16歳まで364人である。

接種機会を逃した方は、平成9年度から平成17年度に生まれた女子が該当するが、転入転出等により、現時点で未接種者を確定することはできない。今後決定される国の方針に基づき、適切に対応していく。

◆一定期間経過後の相談体制は

議員 ワクチン接種から一定期間経過後の相談体制は整っているか。

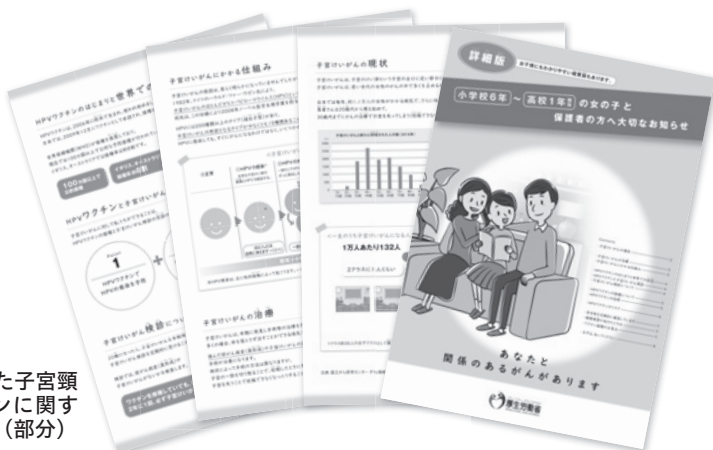
町長 各都道府県に「ヒトパピローマウイルス感染症の接種後の症状が生じた方に対する相談窓口」が設けられており、本県では県健康福祉部保健・疾病対策課および県教育庁保健体育課となっている。

また、「ワクチン接種後に生じた症状の診察に係る医療機関」についても全国に配置されており、本県では秋田大学医学部附属病院で各種相談に対応できる体制になっている。

議員 国は、子宮頸がんなどの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐワクチンの定期接種について、平成25年以降中止していた積極的勧奨の再開を決めた。

ワクチン接種について、検討・判断するために必要な情報提供などを速やかに行い、接種を推進すべきではないか。

町長 ワクチン接種に関する情報を町ホームページで発信するとともに、町広報2月号で周知を図りつつ、令和4年4月に標準接種年齢の13歳になる中学1年生女子に個別勧奨を行う。その際に、ワクチン接種の判断が適切にできるよう資料等も同封し、接種勧奨に努める。14歳から16歳になる女子に



厚生労働省が作成した子宮頸がんやHPVワクチンに関する啓発リーフレット（部分）



いづみ みわこ 議員

全世帯に燃料費の助成を

町長 低所得者世帯の負担軽減が目的

議員 今定例会で灯油購入費緊急助成事業が提案されている。厳しい経済状況のもと、住民税非課税世帯だけではなく、全世帯に対し燃料費の助成の実施を求める。

また、地元事業者や福祉施設への支援も必要ではないか。

町長 今回、町で提案した「灯油購入費緊急助成事業」は、あくまで低所得者世帯の負担軽減を図る目的であり、全世帯への助成は考えていない。

地元事業者や株式会社が経営している福祉施設への支援については、既に美郷町事業継続支援金を交付している。

また、社会福祉法人が経営している福祉施設への支援については、法人に税制上の優遇措置がある

ることから、現在のところ支援金の対象としていない。今後、国や県が実施する支援等の情報収集に努め、状況に応じて適切に判断していく。



国保税の引き下げを

町長 現時点では実施できない

議員 国民健康保険の課題は、被保険者の所得水準が低く、所得に

占める保険税負担が大きいことだと思うが、どう認識されているか。また、加入者の負担軽減を図るため、町独自の繰入金や基金を活用し、国民健康保険税を引き下げることが必要ではないか。

町長 国民健康保険制度については、被保険者の平均年齢が高く、低所得者が多いなど構造的な課題を抱えていることは認識している。

町単独の繰入金の活用は、秋田県国民健康保険運営方針に「決算補填を目的とした一般会計からの法定外繰入の解消及び削減を推進する」と明記されていることから、適切ではないと考える。

また、国民健康保険特別会計の基金の活用は、医療費や所得水準、

保険税収納率や事業費納付金に変動があるなどの不確定要素を踏まえると、国民健康保険財政の安定化の観点から、現時点においては実施できない。





高橋 邦武 議員

地域資源を活かした農山村づくりを

町長 活性化につながるよう支援する

議員 里地里山の保全承継について、今後の対応方針は。

町長 里地里山の重要性を広く認識してもらうため、町がこれまで実施してきた植樹事業を継続する。企業や大学にも参加を呼びかけ広く展開し、いずれは自発的な保全活動につなげたい。

◆認定メリットの活用を

議員 県の「守りたい秋田の里地里山50」に町では七滝地域が認定されている。そのメリットを活かした農業者への支援は。

町長 認定に伴い、さまざまな支援や助成などが受けられることを対象地域の方々に伝え、活用を検討していただき、そうした取り組み

みを通じ、農業所得の向上に加え、地域振興につながるよう支援する。

◆半農半Xの実現を

議員 コロナ禍を契機に、地方への移住や二地域居住（デュアルライフ）などの動きが強まっている。新たな兼業スタイルによる半農半Xを実現し、農山村の魅力を発信すべきではないか。

町長 田園回帰の流れは、地域に人を呼び込む好機と捉えている。農地取得要件を10aに引き下げるなど、多様なライフスタイルを実践しやすい環境を整えていることをPRし、地域の振興・活性化につなげていく。

◆農業所得向上への取り組みは

議員 特色ある農業の推進による所得向上に対する考えは。

町長 販売単価が高く町内全域で作付け可能なサキホコレの生産拡大による収入増加を期待し、支援策を検討している。また、高収益性の美郷推進作物と、美郷雪華やれんこん、セリなどの美郷ブランド作物の栽培勉強会を開催し、作付けにつなげていく。

◆鳥獣被害の状況は

議員 鳥獣被害対策の強化が必要と考えるが、町の現状と対策は。

町長 令和3年度のツキノワグマによる被害は、リングゴ2万4千円、

水稲1万4千円だが、イノシシによる被害が14万7千円発生している。対策については、令和3年7月に協議会を組織し、体制を強化している。

◆森林の健全化を

議員 間伐による森林の適正整備や林道整備、森林病虫害の効果的防除が必要と考えるが。

町長 針広混交林化に向けた間伐とともに、林道整備は年次的に実施している。病虫害防除については、薬効期間や被害状況を考慮して計画的に進めている。



鈴木 正洋 議員

再生エネ設備への指導要綱の整備を

町長 制定を検討する

議員 再生可能エネルギー設備の建設時に問題が発生しないよう、指導要綱を整備すべきではないか。

町長 ソーラーパネルを設置しようとする事業者に対し、指導を行う要綱を制定している自治体もあり、町としても検討していく。

スクールバス距離条件の緩和を

教育長 柔軟な対応は難しい

議員 スクールバス利用の距離条件を、冬期間だけでも緩和することはできないか。また、利用基準の判断を学校に委ねてもよいのでは。

教育長 基準を柔軟にした場合や学校に委ねた場合、運用が難しく

なり対応に困難をきたす。現段階においては、スクールバス利用の距離条件の緩和や利用基準を柔軟にしていくことは難しい。

通学路に防犯灯の増設を

町長 点検して安全を確保

議員 通学路の家並みが途切れる区間にも防犯灯の増設を。

町長 毎年、通学路の点検を大仙警察署と合同で実施しているが、今後防犯灯もその対象とし、通学路の安全確保に努める。

防犯灯に集まる害虫の影響で設置できない箇所については、代替案を検討する。

防風雪柵の設置を

町長 基準を設けて検討する

議員 吹雪による交通障害が多発している「都野・東君堂線」に、防風雪柵を設置できないか。

町長 整備にはかなりの予算を必要とする。当該路線や町内を南北に走る路線について、今冬、通学路を中心に吹き溜まりの発生状況を調査し、一定の基準を設けて整備の是非を検討する。



暴風雪柵で視界確保

消雪道路改修工事の順番は

町長 課題がある箇所を優先

議員 六郷地区「中央通り線」の消雪施設改修工事は、道路が傾斜して歩きにくい馬町商店街を優先すべきではないか。

町長 令和3年度に工事を実施した鍮田地区から一定距離南下し、舗装割れが著しい箇所の改修を行った後、消雪水量が著しく少ない箇所、路面散水に課題がある箇所を優先し改修する。
かなりの費用を要する工事になるため、投下予算規模を考えながら年次計画で対応する。



熊谷 隆一 議員

議員 町は、県の協力を得ながら、七滝山や真昼山などへ登山客を誘致する新たな取り組みを進めている。

登山道の入口に位置する大坂集落の住民から、登山客がだいたい来るようになったという話を伺ったが、現在の登山客数等の実態はどうか。

また、登山道の入口を尋ねられる機会が増えたこともあり、もっと分かりやすい案内看板を設置すべきでないか。

町長 美郷町観光振興計画に基づき、地域資源とニューツーリズムのネットワーキングの取り組みとして、真昼山をはじめとする山岳フィールドの整備について、令和2年度より計画的に進めている。

登山道への案内看板の設置を

町長 13カ所整備、視認性の検証を行う

現在、真昼山、七滝山、女神山で、合計6コースの登山道と6カ所の登山口が整備されている。

町を訪れる登山客は、徐々に増えていると考えられるが、入山数は把握する手段がなく、実態把握が困難な状況にある。

しかし、令和3年度、全ての登山口に登山届用のポストを設置したので、今後は把握が可能となる。



登山口に設置された「登山届ポスト」

真昼山登山口に誘導する案内看板は、主要道路を基本として合計13カ所整備している。

今後、山岳フィールドの整備やアウトドア志向の高まりにより、登山客が増加することも予想される。観光客目線に立ち、案内看板の視認性の検証を行い、必要があれば適切に対応していく。

地区住民には、観光客から道を尋ねられることがあれば、これまでと同様にご協力をいただきました。



真昼山の山頂よりふるさとを望む

商工会青年部OB会と 議会との意見交換会

「コロナ後のまちづくりを考える」



令 和3年11月30日、「商工会
青年部OB会と議会との意
見交換会」を役場特別会議室で行
いました。参加者は、商工会青年
部OB会から9名（事務局1名）、
議会から7名（同1名）。まちづ
くりや議会についていただいたご
意見は、今後の政策提言と議会改
革に活かしてまいります。

議会 町の事業継続支援金は、令
和2年度に387事業者に対し
7740万円交付され、令和3年
10月には補正予算も可決された。
国では補正予算で事業復活支援金
を提案している。地方創生臨時交
付金が町に交付される時まで、支
援内容を検討する必要があり、町
に要望を伝えたい。

意見 町のSNSはアピール度が
低く、ITを活用した販売につい
て支援する施策が必要でないか。

販売支援施策

意見 町中小企業振興資金融資制
度の無利子延長の検討を要望した
い。

議会 町内企業の負担軽減を図る
ため、無利子延長を町に働きかけ
ていく。

中小企業への支援

意見 雇用調整助成金や持続化給
付金などの支援では、十分でない
ため、コロナ禍の影響を受けてい
る中小企業等への更なる支援を要
望したい。

意見 町では、インターネット販
売研修やパソコン・タブレットの
購入支援を実施した。SNSを活
用した情報発信の強化と販路の拡
大を図る施策が必要である。

参加議員

森元 淑雄 議長、鈴木 良勝 副議長

総務産業常任委員会：村田 薫 委員長、高橋 邦武 副委員長

教育民生常任委員会：泉 美和子 委員長、熊谷 良夫 副委員長

道の駅美郷

意見 道の駅美郷の売上は好調だが、課題もあり、今後のビジョン・方針はどうか。

議会 道の駅の機能は、「休憩、情報発信、地域の連携」の3点であり、誘客の増加により売上・収益を伸ばしていくことが第一である。観光情報センターは、町なびカードにより町内への周遊に寄与している。町と相談しなければならぬ課題は、協議していく。

人口減少対策

意見 人口減少がかなり加速していると感じているが、子宝祝金制度など新しい施策が必要ではないか。

議会 町では、人口減少対策として、さまざまなプロジェクトを実施している。インパクトのある目玉事業は難しいが、町と協議していく。

議員の定数と報酬

意見 次回の議員選挙から、議員定数を減らして議員報酬を増やすことが、議会の効果的かつ効率的な運営につながるのではないかと。

議会 なり手不足が全国で問題となる中、定数と報酬に関してはさまざまな意見があるため、議員全員で議論していく。

農業者減少対策

意見 農業従事者が少なくなっているが、町としての対策はどうか。また、若者の就農に対する具体的な施策はあるか。

議会 農業法人育成、基盤整備、メガ団地など、さまざまな補助事業を行い、農業者を支援している。若者に対し、機械・施設の経費補助はあるが、研修など人的支援は足りない。やる気のある農家を育て、米偏重傾向を脱することが必要である。



美郷町商工会青年部 OB 会 高橋 智 会長



令和3年11月26日

町の特別職（議会議員・町長等）、一般職の期末手当の減額に伴う条例の一部改正及び関連する各会計の補正、新型コロナウイルスワクチン3回目接種の予約受付業務委託に伴う接種事業費の増額など。

採決結果

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。議長は採決には加わりません。

○：賛成 ●：反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果
議員名	熊谷隆一	村田薫	鈴木正洋	藤原政春	高山茂雄	高橋邦武	深澤均	伊藤福章	高橋正和	泉美和子	深沢義一	熊谷良夫	澁谷俊二	長谷川幸子	鈴木良勝	森元淑雄	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○		可決

◎令和3年第10回議会臨時会（11/26）

議案第59号 美郷町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第60号 令和3年度美郷町一般会計補正予算第6号
議案第61号 令和3年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第3号
議案第62号 令和3年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第2号
議案第63号 令和3年度美郷町水道事業会計補正予算第2号

【反対討論】議案第59号～議案第63号

■泉議員 本条例、並びに補正予算は、一般職の期末手当を2年連続で引き下げるものであり、職員の士気低下につながる。また、民間賃金の引き下げにも及び、地域経済へ影響することにもなる。

令和3年12月27日

一般会計に2億343万4千円を追加し、総額を131億4859万5千円としました。

新型コロナウイルス感染症の影響で様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、「住民税非課税世帯」と「家計急変世帯」に対して、1世帯当たり10万円の現金を給付します。

■深澤（均）議員 「家計急変世帯」とは何か。

■総務課長 「家計急変世帯」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少し、再計算すると住民税非課税相当とみなされる世帯のこと。認められるためには、申請の手続きが必要となる。

シリーズ
ムチューデント
美郷中

男子バドミントン部

明るく謙虚にはつらつと



私たちは「明るく謙虚にはつらつと」というスローガンのもと日々の練習に取り組んでいます。昨年の11月6日に行われた県秋季大会では、団体戦で1位、シングルスでも1位、ダブルスで2位と3位という好成績を残すことができました。このような成績を残すことができたのは、チームのメンバーを支えてくれた家族や応援してくれた地域の皆さんのおかげだと感謝しています。この感謝の気持ちを忘れずに、これから行われる大会でも、練習をしてきたことを活かし、「東北大会上位入賞」を目指して頑張りたいと思います。皆さんの温かい応援をよろしくお願いいたします。

キャプテン 照井 亮眞

ムチューデント・フォトグラファー

六郷高校
写真部

「みさと議会だより」の表紙を飾る写真を、今号から六郷高校の写真部の方に撮影してもらいます。

六郷高校のムチューデントなフォトグラファーが、美郷中のムチューデントたちのスマイルをショット!

撮影者のコメントも掲載します。お楽しみに。

今号の撮影者



我妻 梨久さん (1年)

配置のバランスやアングルなどに気を使いました。皆さん、良い笑顔で撮れました。



議会の動き

令和3年

11月

19日
議会運営委員会
議会連絡会

26日

第10回議会臨時会
議会広報常任委員会

30日

大曲仙北広域市町村圏組合議会定例会
大仙美郷介護福祉組合議会定例会
商工会青年会OB会との意見交換会

12月

6日

議会運営委員会

10日

議会運営委員会
議会連絡会

13日

議会運営委員会
第11回議会定例会（～22日）

16日

教育民生常任委員会

21日

総務産業常任委員会
教育民生常任委員会

22日

議会運営委員会
議会広報常任委員会

27日

第12回議会臨時会

令和4年

1月

7日

議会広報常任委員会

13日

議会広報常任委員会

14日

議会運営委員会

18日

議会運営委員会

20日

議会広報常任委員会

27日

総務産業常任委員会（所管事務調査）

28日

第1回議会臨時会

クイズ

問1 12月定例会で一般質問をした議員は ○人

問2 今号から表紙の撮影は ○○○○写真部

○の中だけお答えください

みさと議会だより 第69号

クイズ

正解と当選者

クイズ

【問1】女性議員の人数は ○人

▶ 【正解】 2

【問2】定例会は 年○回

▶ 【正解】 4

クイズ当選者

多数のご応募、議会や議会だよりに対するご意見・ご感想ありがとうございました。抽選の結果、次の方々が当選しました。

柳原幸子 様

久米辰美 様

熊谷信悟 様

坂本禮子 様

高橋龍雄 様

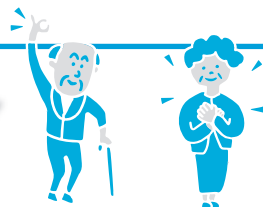




議会に関する

アンケート

皆様の声をお聞かせ下さい



問1 議会に関心がありますか？

- ① 関心がある
- ② どちらかといえば関心がある
- ③ どちらかといえば関心がない
- ④ 関心がない

問2 議会を傍聴したことがありますか？

- ① ある
- ② ない

問3 「みさと議会だより」をどの程度お読みになりますか？

- ① 大体全部読む
- ② 関心のあるものだけ読む
- ③ ほとんど読まない
- ④ その他

問4 「みさと議会だより」の誌面の見やすさはいかがですか？

- ① 見やすい・読みやすい
- ② 見づらい・読みにくい
- ③ その他

問5 誌面の中で興味がある項目は何ですか？（複数回答可）

- ① 一般質問の内容
- ② 議案の審議結果
- ③ 請願・陳情の審査結果
- ④ 各種委員会の活動内容
- ⑤ シリーズ「ムチューデント美郷中」
「キラリ美郷」
- ⑥ その他



クイズの答え

問1 12月定例会で一般質問をした議員は 人問2 今号から表紙の撮影は 写真部

アンケート回答

問1 _____

問2 _____

問3 _____ その他 _____

問4 _____ その他 _____

問5 _____

その他 _____

感想等自由記載欄

応募方法

必要事項（氏名、住所、年齢、クイズの答え、アンケートの答え）を記入のうえ、はがき又はメールにてご応募ください。正解者の中から、抽選で5人の方に粗品を差し上げます。

また、議会へのご意見をお待ちしております。

応募の注意

☆応募専用はがき：63円切手を貼ってご応募ください。

☆官製はがき：アンケートの答えも忘れずにご記入ください。

☆応募はお一人様1通とさせていただきます。

あて先

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

議会事務局メールアドレス

gikai@town.misato.akita.jp

締切日

令和4年2月28日（当日消印有効）

●次回定例会は、3月上旬を予定しています。
日程は2月15日発行の「議会だよりお知らせ版」をご覧ください。

シリーズ

キラリ 美郷

VOL.65

白銀に舞う生涯スポーツ ～美郷町スキー連盟～



小学生へのスキー教室

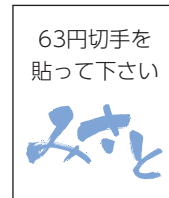
お問い合わせ

- 【千畑クラブ】**
0187-84-2258 担当：森元
- 【六郷クラブ】**
0187-84-4093 担当：山田
- 【仙南クラブ】**
0182-37-3367 担当：加藤



美郷町スキー連盟の嶋津昌彦
会長にお話をうかがいました。

◆ 町内には、旧3カ町村それぞれに秋田県スキー連盟認定のスキークラブがあり、合わせて50名程の全日本スキー連盟公認指導員がおります。県の技術選手権大会にも多数出場するなど、楽しみながら技術の研さんに努めているところ
◆ 連盟としての活動は、町のスキー大会運営や子ども達へのスキー指導が主なもので、ホームゲ



郵便はがき

019-1541

美郷町土崎字上野乙170-10
美郷町議会事務局

議会だより係

ふりがな 氏名		年齢	歳
住所	〒		
電話番号			

◆ レンデは無料の後三年スキー場。スキーの後は近くの「湯とぴあ」で温泉も楽しんでいます。

◆ スキーは老若男女問わず楽しめるスポーツです。子どもの頃から始めて50年以上もスキーを楽しんでいる方もたくさんいる、まさに生涯スポーツです。

◆ 大自然の中、爽快な気分が味わえるスキー。コロナ禍にあっても、ぜひ、白銀の世界へ飛び出しましょう。

